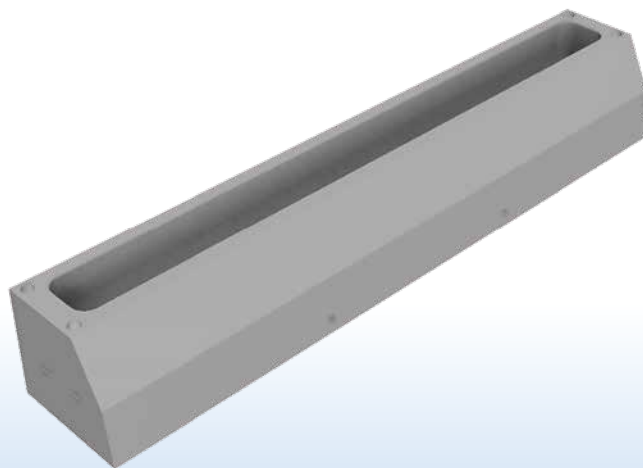


製品概要

クレーバース500S

クレーバースは現場発生コンクリート殻を活用したリサイクル工法、代替型枠として利用した残存型枠工法など、従来の利点を継承しながら改良を加え、施工効率を向上させました。

500S型シリーズは施工の省力化・コスト低減に大きく貢献し、時代のニーズに応えます。



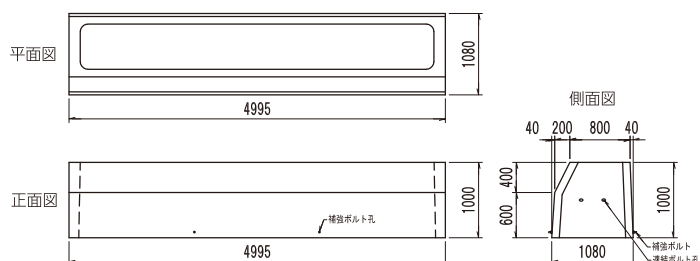
特長

- ◆ 製品を長尺化し、据え付けに要する時間を大幅に短縮します。
- ◆ 連結部の間詰がなく、連結コンクリートの打設が不要です。
- ◆ 部材厚を薄くし、中詰め容積を拡張したことにより、より多くの現場発生コンクリート殻を中詰め材として再利用することが可能となり、環境負荷の低減が図られます。
- ◆ 現場打ち工法に比べ作業工程が省略できるため水替え作業が軽減できます。

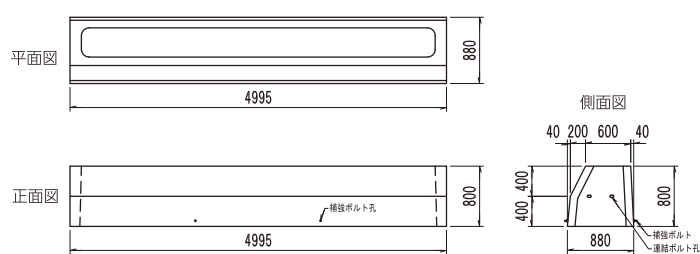


製品図面

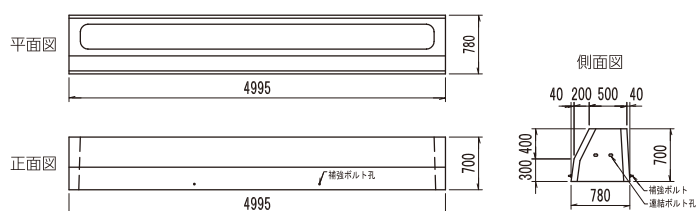
クレーバース500S A型



クレーバース500S B型



クレーバース500S C型



名 称	寸法規格	参考重量(kg)	製品体積(m ³)	中詰め体積(m ³)
クレーバース500SA型	1000×1080×4995	3000	1.253	3.702
クレーバース500SB型	800×880×4995	2304	0.960	2.157
クレーバース500SC型	700×780×4995	1644	0.685	1.663

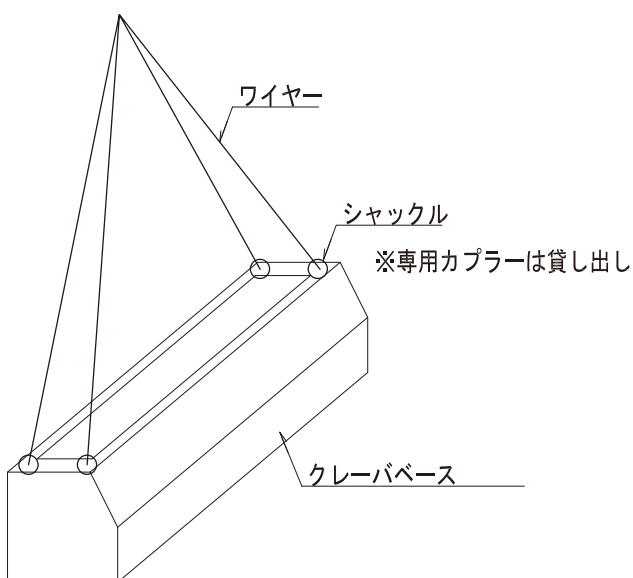
クレーバース



1 製品の吊り上げ

- ◆ ワイヤー4本とシャックル4個を用意してください。
- ◆ 安全の為、吊り荷の下には絶対に入らないでください。
- ◆ 弊社から貸し出した吊り金具(カプラー)を、製品天端4か所の吊りフックに確実に掛け、製品を吊ってください。
- ◆ 吊り金具の取り扱いには注意してください。
- ◆ 掛かりが緩いと製品が脱落するおそれがあります。

吊り金具取付イメージ



吊り金具



吊り金具(カプラー)参考写真

※吊り金具は工事終了時にご返却願います。

2 製品の据え付け

- ◆ 丁張りを行い、製品の施工位置ラインを確認しつつ、安全に据え付けを行ってください。
- ◆ 据付時は製品で手足を挟まないよう十分注意してください。

3 製品の目地

- ◆ 施工延長10mごとに目地材の貼り付けを行います。
- ◆ 隅角部は間詰コンクリートで処理します。

クレーバース

4 製品の連結

- ◆ 製品間は弊社支給の連結ボルトを使用して連結を行ってください。(連結部分1箇所につき、ボルト2本使用)
- ◆ 製品長4995mmで連結部が2箇所以上になる場合は下図の通り、目地材貼付とボルト連結を交互に行います。

5 製品内部の打設

- ◆ 据付後、製品内部に中詰めコンクリートを打設します。
- ◆ 現場によっては、コンクリート殻を投入します。
- ◆ 最後に製品打設面を丁寧に均します。

